

近年の風水害 令和元年東日本台風（台風第19号）

！被害の状況

台風第19号は令和元（2019）年10月12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した後、関東地方を通過し13日未明に東北地方の東海上に抜けました。東日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となりました。栃木県内でも広範囲で冠水や河川の堤防の決壊による洪水、土砂災害が発生しました。

市内の被害

- 死者1人 重傷者2人
- 住宅被害：住家全壊14棟 大規模半壊96棟 半壊2,751棟  
（参考）床上浸水3,961棟 床下浸水4,016棟
- 河川決壊8箇所
- 土砂崩れ19箇所

巴波川周辺：市役所立体駐車場屋上から



藤岡町甲地内：蓮花川江戸尻橋



出典：令和元年東日本台風（台風第19号）災害対応検証報告書



栃木市災害の記憶（動画）



栃木市災害の記憶

！教訓（逃げ遅れ）

台風第19号では、逃げ遅れによる被災者が多数発生しました。こうした教訓を踏まえ、令和3年5月に災害対策基本法の一部が改正され、避難情報に変更となりました。

P11

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保	災害発生情報（発生を確認したときに発令）
4	避難指示	避難指示（緊急）・避難勧告
3	高齢者等避難	避難準備・高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	早期注意情報（気象庁）	早期注意情報（気象庁）

⚠️ 警戒レベル4「避難指示」で必ず避難しましょう。

！教訓（ライフライン停止）

栃木市では、断水や停電が発生しました。大規模な風水害時には、ライフラインが長期間停止する場合があります。日頃からの備蓄を進め、災害に備えておきましょう。

P99～100



雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	傘をさしていてもぬれる。		傘は全く役に立たなくなる。	
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声がよく聞き取れない。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。	道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。		
車に乗っていて	特になし。	ワイパーを速くしても見づらい。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。（ハイドロプレーニング現象）	車の運転は危険。	

風の強さと吹き方

平均風速 (m/s)	10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～25未満	25以上～30未満	30以上～35未満	35以上～40未満	40以上～
予報用語	やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風		
おおよその時速	～50km	～70km	～90km	～110km	～125km	～140km	140km～
速さの目安	一般道路の自動車		高速道路の自動車		特急電車		
人への影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業は極めて危険。	何かにつかまっていないうちで倒れる。飛来物によって負傷するおそれがある。		屋外での行動は極めて危険。		
屋外・樹木の様子	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	電線が鳴り始める。看板やトタン屋根が外れ始める。	細い木の幹が折れる。根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。		多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。		